

高石商工会議所景気観測調査

2017年7月調査

調査概要

○調査対象：高石市内 46社

(業種内訳 製造業 11社、建設業 11社、小売業・卸売業 11社、
飲食業 5社、サービス業 5社)

○調査時期：2017年7月

○調査項目：業況、売上高、採算、資金繰り、仕入価格、従業員（人手）状況

○調査方法：

※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。（仕入単価については、下落をプラス要素、上昇をマイナス要素としている。）

（例）業況 好転 40% 不変 35% 悪化 25%

$40 - 25 = 15$ 業況判断 DI=15

全体

高石市全体では、前年同月に比べ業況は、悪化傾向が見られる。売上高には変化はないが、全業種において仕入単価が上昇しており、非製造業のうち小売業・卸売業、飲食業で採算の悪化が大きく、全体としての業況の悪化を感じさせている。

来期については、仕入単価が下落するとの見通しであるが、売上高が横ばいである見通しのほかは、すべて悪化する見通しとなった。

全体 DI 値

	今期 (前年同月比) H29. 7 月期	来期 見通し H29. 8 ~10 月期
業 況	▲ 8.7	▲ 15.2
売 上 高	0.0	0.0
採 算	4.3	▲ 4.3
資金繰り	▲ 4.3	▲ 6.5
仕入単価	▲ 48.9	▲ 33.3
従 業 員	23.9	21.7

○業況について

2017年7月期の高石市内全業種の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は8社(17.4%)、「不変」と回答した企業は26社(56.5%)、「悪化」と回答した企業は12社(26.1%)であり、半数を超える企業が前年と変わらないとしているが、悪化した企業は好転した企業を上回り、全業種の業況判断(DI)は、▲8.7となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
8	26	12
17.4%	56.5%	26.1%

来期予想業況判断(DI)は、▲15.2(今回調査より6.5ポイント減)となり、やや悪化するとの見通しとなった。

○売上高の動き

2017年7月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は16社(34.8%)、「不変」と回答した企業は14社(30.4%)、「減少」と回答した企業は16社(34.8%)であり、3割の企業が変わらないとしているが、増加と回答した企業と減少とした企業が同数で、売上高判断(DI)は、0.0となった。

◆今期の状況(前年同月比)

増加	不変	減少
16	14	16
34.8%	30.4%	34.8%

来期予想売上高判断(DI)は、0.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

○採算の状況

2017年7月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は12社(26.1%)、「不変」と回答した企業は24社(52.2%)、「悪化」と回答した企業は10社(21.7%)であり、半数以上の企業が昨年と変わりなく、好転とした企業が、悪化した企業を上回り、前年より採算の状況の改善が見られる。採算状況判断(DI)は、4.3となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
12	24	10
26.1%	52.2%	21.7%

来期予想採算状況判断(DI)は、▲4.3(今回調査より8.6ポイント減)となり、マイナスに転じ、やや悪化するとの見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年7月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は3社(6.5%)、「不変」と回答した企業は38社(82.6%)、「悪化」と回答した企業は5社(10.9%)であり、8割以上の企業が昨年と変わらないとする一方、悪化した企業が、好転した企業を上回り、前年同月より資金繰り状況は悪化し、資金繰り判断(DI)は、▲4.3となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
3	38	5
6.5%	82.6%	10.9%

来期予想資金繰り判断(DI)は、▲6.5(今回調査より 2.2 ポイント減)となり、やや悪化するとの見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年7月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は23社(51.1%)、「上昇」と回答した企業は22社(48.9%)であり、半数以上の企業が変わらないとしている一方、半数近くの企業が上昇しているとしている。下落したとする企業はすべての業種において無く、仕入環境は悪化している状況がうかがわれる。仕入単価判断(DI)は、▲48.9となった。

◆今期の状況(前年同月比)

下落	不変	上昇
0	23	22
0.0%	51.1%	48.9%

来期予想仕入単価判断(DI)は、▲33.3(今回調査より 15.6 ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、改善するとの見通しとなった。

○従業員について

2017年7月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は12社(26.1%)、「不変」と回答した企業は33社(71.7%)、「過剰」と回答した企業は1社(2.2%)であり、7割以上の企業が変わりなく、不足している企業が過剰である企業を大きく上回っており、前年より不足感が出ている状況がうかがわれる。従業員判断(DI)は、23.9となった。

◆今期の状況(前年同月比)

不足	不変	過剰
12	33	1
26.1%	71.7%	2.2%

来期予想従業員判断(DI)は、21.7(今回調査より 2.2 ポイント減)となり、人手不足感はやや解消される見通しとなった。

製造業

製造業では、前年同月より仕入単価が上昇しているが、売上高が増加し、採算の状況も好転しており、業況に変化はない。

来期については、仕入単価が下落するとの見通しであるが、売上高、採算とも悪化する見通しであり、業況としては横ばいである。

製造業 DI 値

	今期 (前年同月比) H29. 7 月期	来期 見通し H29. 8 ~10 月期
業 況	0.0	0.0
売 上 高	9.1	0.0
採 算	18.2	▲ 9.1
資金繰り	▲ 18.2	▲ 27.3
仕入単価	▲ 54.5	▲ 18.2
従 業 員	27.3	27.3

○業況について

2017年7月期の製造業の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は3社(27.3%)、「不変」と回答した企業は5社(45.5%)、「悪化」と回答した企業は3社(27.3%)であり、およそ半数の企業が前年と変わりなく、好転、悪化は同じ割合で、業況判断(DI)は0.0となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
3	5	3
27.3%	45.5%	27.3%

来期予想業況判断(DI)は、0.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

○売上高の動き

2017年7月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は5社(45.5%)、「不変」と回答した企業は2社(18.2%)、「減少」と回答した企業は4社(36.4%)であり、増加と回答した企業が減少とした企業を上回り、前年より売上高の上昇が見られ、売上高判断(DI)は、9.1となった。

◆今期の状況(前年同月比)

増加	不変	減少
5	2	4
45.5%	18.2%	36.4%

来期予想売上高判断(DI)は、0.0(今回調査より 9.1 ポイント減)となり、やや悪化するとの見通しとなった。

○採算の状況

2017年7月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は4社(36.4%)、「不変」と回答した企業は5社(45.5%)、「悪化」と回答した企業は2社(18.2%)であり、およそ半数の企業が昨年と変わりなく、好転とした企業が、悪化した企業を上回り、前年より採算の状況の改善が見られる。採算状況判断(DI)は、18.2となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
4	5	2
36.4%	45.5%	18.2%

来期予想採算状況判断(DI)は、▲9.1(今回調査より 27.3 ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年7月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(9.1%)、「不変」と回答した企業は7社(63.6%)、「悪化」と回答した企業は3社(27.3%)であり、6割以上の企業が昨年と変わらないとする一方、悪化した企業が、好転した企業を上回り、前年同月より資金繰り状況は悪化し、資金繰り判断(DI)は、▲18.2となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
1	7	3
9.1%	63.6%	27.3%

来期予想資金繰り判断(DI)は、▲27.3(今回調査より9.1ポイント減)となり、やや悪化するとの見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年7月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(45.5%)、「上昇」と回答した企業は6社(54.5%)であり、半数以上の企業が上昇しており、下落したとする企業は無く、仕入環境は悪化している状況がうかがわれる。仕入単価判断(DI)は、▲54.5となった。

◆今期の状況(前年同月比)

下落	不変	上昇
0	5	6
0.0%	45.5%	54.5%

来期予想仕入単価判断(DI)は、▲18.2(今回調査より36.3ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、改善するとの見通しとなった。

○従業員について

2017年7月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は3社(27.3%)、「不変」と回答した企業は8社(72.7%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)であり、7割以上の企業が変わりなく、不足している企業が過剰である企業を上回っており、不足感が出ている状況がうかがわれる。従業員判断(DI)は、27.3となった。

◆今期の状況(前年同月比)

不足	不変	過剰
3	8	0
27.3%	72.7%	0.0%

来期予想従業員判断(DI)は、27.3(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

企業のコメント

- ・ 忙しい割に儲けが少なく、利益率が悪化している。
- ・ 社員の教育訓練のレベルアップについて課題を感じている。
- ・ 従業員が不足している。
- ・ 低価格の商品が望まれており、十分に採算の取れる価格を付けにくい。

建設業

建設業では、前年同月より売上高が増加、採算の状況が好転しているが、仕入単価が上昇しており、また従業員が不足していることで、業況感が悪化している。

来期については、仕入単価は下落、従業員不足は改善される見通しであるが、売上高、採算ともに悪化し、業況も悪くなる見通しである。

建設業 DI 値

	今期 (前年同月比) H29. 7 月期	来期 見通し H29. 8 ~10 月期
業 況	▲ 9.1	▲ 27.3
売 上 高	9.1	0.0
採 算	18.2	9.1
資金繰り	9.1	9.1
仕入単価	▲ 45.5	▲ 36.4
従 業 員	54.5	45.5

○業況について

2017年7月期の建設業の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(18.2%)、「不変」と回答した企業は6社(54.5%)、「悪化」と回答した企業は3社(27.3%)であり、半数以上の企業が前年と変わらないとしているが、悪化した企業が好転した企業を上回り、業況判断(DI)は、▲9.1となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
2	6	3
18.2%	54.5%	27.3%

来期予想業況判断(DI)は、▲27.3(今回調査より 18.2 ポイント減)となり、さらに悪化するとの見通しとなった。

○売上高の動き

2017年7月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は5社(45.5%)、「不変」と回答した企業は2社(18.2%)、「減少」と回答した企業は4社(36.4%)であり、増加と回答した企業が減少とした企業を上回り、前年より売上高の増加傾向が見られ、売上高判断(DI)は、9.1となった。

◆今期の状況(前年同月比)

増加	不変	減少
5	2	4
45.5%	18.2%	36.4%

来期予想売上高判断(DI)は、0.0(今回調査より 9.1 ポイント減)となり、やや悪化するとの見通しとなった。

○採算の状況

2017年7月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(18.2%)、「不変」と回答した企業は9社(81.8%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)であり、8割を超える企業が昨年と変わらないとしているが、好転とした企業が、悪化した企業を上回り、前年より採算の状況の改善が見られる。採算状況判断(DI)は、18.2となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
2	9	0
18.2%	81.8%	0.0%

来期予想採算状況判断(DI)は、9.1(今回調査より 9.1 ポイント減)となり、やや悪化するとの見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年7月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(9.1%)、「不変」と回答した企業は10社(90.9%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)であり、9割以上の企業が昨年と変わりないとしている。好転した企業が、悪化した企業を上回り、資金繰り状況は改善しており、資金繰り判断(DI)は、9.1となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
1	10	0
9.1%	90.9%	0.0%

来期予想資金繰り判断(DI)は、9.1(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年7月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は6社(54.5%)、「上昇」と回答した企業は5社(45.5%)であり、変わらないとする企業が最も多いが、半数近くの企業が上昇したとする一方、下落したとする企業は無く、仕入環境は悪化している状況がうかがわれる。仕入単価判断(DI)は、▲45.5となった。

◆今期の状況(前年同月比)

下落	不変	上昇
0	6	5
0.0%	54.5%	45.5%

来期予想仕入単価判断(DI)は、▲36.4(今回調査より9.1ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、やや改善されとの見通しとなった。

○従業員について

2017年7月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は6社(54.5%)、「不変」と回答した企業は5社(45.5%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)であり、半数以上の企業が不足しているとしており、過剰である企業を上回っており、不足感が出ている状況がうかがわれる。従業員判断(DI)は、54.5となった。

◆今期の状況(前年同月比)

不足	不変	過剰
6	5	0
54.5%	45.5%	0.0%

来期予想従業員判断(DI)は、45.5(今回調査より9.0ポイント減)となり、人手不足感はやや解消する見通しとなった。

企業のコメント

- ・ 求人募集をしても良い人材と出会えない。

小売業・卸売業

小売業・卸売業では、前年同月より従業員状況を除くすべての項目で、悪化している。仕入単価においては、すべての企業が、変わらないまたは上昇したとしており、他の項目の悪化要因になっている。

来期については、すべての項目において改善される見通しである。

小売業・卸売業 DI 値

	今期 (前年同月比) H29. 7 月期	来期 見通し H29. 8 ~10 月期
業 況	▲ 27.3	▲ 18.2
売 上 高	▲ 18.2	0.0
採 算	▲ 27.3	▲ 18.2
資金繰り	▲ 18.2	▲ 9.1
仕入単価	▲ 45.5	▲ 36.4
従 業 員	0.0	9.1

○業況について

2017年7月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(9.1%)、「不変」と回答した企業は6社(54.5%)、「悪化」と回答した企業は4社(36.4%)であり、半数以上の企業が前年と変わらないとしているが、悪化した企業が好転した企業を上回り、小売業・卸売業の業況判断(DI)は、▲27.3となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
1	6	4
9.1%	54.5%	36.4%

来期予想業況判断(DI)は、▲18.2(今回調査より 9.1 ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、やや改善する見通しとなった。

○売上高の動き

2017年7月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は2社(18.2%)、「不変」と回答した企業は5社(45.5%)、「減少」と回答した企業は4社(36.4%)であり、変わらないとした企業が半数近くあるが、減少と回答した企業が増加とした企業を上回り、前年より売上高の減少傾向が見られ、売上高判断(DI)は、▲18.2となった。

◆今期の状況(前年同月比)

増加	不変	減少
2	5	4
18.2%	45.5%	36.4%

来期予想売上高判断(DI)は、0.0(今回調査より 18.2 ポイント増)となり、改善する見通しとなった。

○採算の状況

2017年7月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(18.2%)、「不変」と回答した企業は4社(36.4%)、「悪化」と回答した企業は5社(45.5%)であり、悪化した企業が、好転した企業を上回り、前年より採算の状況の悪化が見られる。採算状況判断(DI)は、▲27.3となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
2	4	5
18.2%	36.4%	45.5%

来期予想採算状況判断(DI)は、▲18.2(今回調査より 9.1 ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、やや改善する見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年7月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は9社(81.8%)、「悪化」と回答した企業は2社(18.8%)であり、8割以上の企業が前年と変わらないとしている。悪化した企業が、好転した企業を上回り、資金繰り状況は悪化しており、資金繰り判断(DI)は、▲18.2となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
0	9	2
0.0%	81.8%	18.2%

来期予想資金繰り判断(DI)は、▲9.1(今回調査より 9.1 ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、やや改善する見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年7月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は6社(54.5%)、「上昇」と回答した企業は5社(45.5%)であり、変わらないとする企業が最も多いが、半数近くの企業が上昇したとする一方、下落したとする企業は無く、仕入環境は悪化している状況がうかがわれる。仕入単価判断(DI)は、▲45.5となった。

◆今期の状況(前年同月比)

下落	不変	上昇
0	6	5
0.0%	54.5%	45.5%

来期予想仕入単価判断(DI)は、▲36.4(今回調査より 9.1 ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、やや改善する見通しとなった。

○従業員について

2017年7月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は1社(9.1%)、「不変」と回答した企業は9社(81.8%)、「過剰」と回答した企業は1社(9.1%)であり、8割以上の企業が変わらないとしており、不足、過剰は同じ値で、大きな変化はなく、従業員判断(DI)は、0.0となった。

◆今期の状況(前年同月比)

不足	不変	過剰
1	9	1
9.1%	81.8%	9.1%

来期予想従業員判断(DI)は、9.1(今回調査より 9.1 ポイント増)となり、人手不足感がやや強まる見通しとなった。

企業のコメント

- ・仕入価格の上昇に伴う購買意欲の低下や、価格競争の激化に伴う粗利収益の低下が課題。
- ・スタッフ人員の確保が難しい。
- ・ネット販売の強化が課題である。

飲食業

飲食業では、前年同月より従業員状況が改善され、資金繰り状況に変化がないことを除けば、悪化している。仕入単価が上昇し、他の項目の悪化要因となっている。

来期については、仕入単価が下落する見通しであるが、業況を含め他の項目は、横ばいとなる見通しである。

飲食業 DI 値

	今期 (前年同月比) H29. 7 月期	来期 見通し H29. 8 ~10 月期
業 況	▲ 20.0	▲ 20.0
売 上 高	▲ 40.0	▲ 40.0
採 算	▲ 20.0	▲ 20.0
資金繰り	0.0	0.0
仕入単価	▲ 80.0	▲ 60.0
従 業 員	20.0	0.0

○業況について

2017年7月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は4社(80.0%)、「悪化」と回答した企業は1社(20.0%)であり、8割の企業が前年と変わらないとしているが、悪化した企業が好転した企業を上回り、飲食業の業況判断(DI)は、▲20.0となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
0	4	1
0.0%	80.0%	20.0%

来期予想業況判断(DI)は、▲20.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

○売上高の動き

2017年7月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は3社(60.0%)、「減少」と回答した企業は2社(40.0%)であり、変わらないとした企業が6割あるが、減少と回答した企業が増加とした企業を上回り、前年より売上高の減少傾向が見られ、売上高判断(DI)は、▲40.0となった。

◆今期の状況(前年同月比)

増加	不変	減少
0	3	2
0.0%	60.0%	40.0%

来期予想売上高判断(DI)は、▲40.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

○採算の状況

2017年7月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は4社(80.0%)、「悪化」と回答した企業は1社(20.0%)であり、変わらないとした企業が8割あるが、減少と回答した企業が増加とした企業を上回り、前年より採算の状況の悪化が見られる。採算状況判断(DI)は、▲20.0となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
0	4	1
0.0%	80.0%	20.0%

来期予想採算状況判断(DI)は、▲20.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年7月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(100.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)であり、すべての企業が前年と変わりないとしている。資金繰り判断(DI)は、0.0となった。

来期予想資金繰り判断(DI)は、0.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
0	5	0
0.0%	100.0%	0.0%

○仕入単価の動き

2017年7月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は1社(20.0%)、「上昇」と回答した企業は4社(80.0%)であり、上昇したとする企業が8割に上り、仕入環境は悪化している状況がうかがわれる。仕入単価判断(DI)は、▲80.0となった。

来期予想仕入単価判断(DI)は、▲60.0(今回調査より20ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、改善するとの見通しとなった。

◆今期の状況(前年同月比)

下落	不変	上昇
0	1	4
0.0%	20.0%	80.0%

○従業員について

2017年7月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は1社(20.0%)、「不変」と回答した企業は4社(80.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)であり、8割の企業が変わらないとしている。不足とする企業が、過剰であるとした企業を上回っており、不足感もうかがわれる。従業員判断(DI)は、20.0となった。

来期予想従業員判断(DI)は、0.0(今回調査より20ポイント減)となり、人手不足感が解消される見通しとなった。

◆今期の状況(前年同月比)

不足	不変	過剰
1	4	0
20.0%	80.0%	0.0%

企業のコメント

- ・アルバイトの質が悪化している。

サービス業

サービス業では、前年同月より仕入単価の上昇を除けば、すべて好転、改善されている。

来期については、売上高、仕入単価においては、横ばいの見通しであるが、採算、資金繰りにおいては、悪化する見通しとなり、業況DIは、プラスからマイナスに転じる見通しである。

サービス業 DI 値

	今期 (前年同月比) H29. 7 月期	来期 見通し H29. 8 ~10 月期
業 況	12.5	▲ 12.5
売 上 高	25.0	25.0
採 算	25.0	12.5
資金繰り	12.5	0.0
仕入単価	▲ 28.6	▲ 28.6
従 業 員	12.5	12.5

○業況について

2017年7月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(25.0%)、「不変」と回答した企業は5社(62.5%)、「悪化」と回答した企業は1社(12.5%)であり、6割以上の企業が前年と変わらないとしているが、好転した企業が悪化した企業を上回り、サービス業の業況判断(DI)は、12.5となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
2	5	1
25.0%	62.5%	12.5%

来期予想業況判断(DI)は、▲12.5(今回調査より25.0ポイント減)となり、マイナスに転じ、悪化するとの見通しとなった。

○売上高の動き

2017年7月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は4社(50.0%)、「不変」と回答した企業は2社(25.0%)、「減少」と回答した企業は2社(25.0%)であり、増加と回答した企業が減少とした企業を上回り、前年より売上高の増加傾向が見られ、売上高判断(DI)は、25.0となった。

◆今期の状況(前年同月比)

増加	不変	減少
4	2	2
50.0%	25.0%	25.0%

来期予想売上高判断(DI)は、25.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

○採算の状況

2017年7月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は4社(50.0%)、「不変」と回答した企業は2社(25.0%)、「悪化」と回答した企業は2社(25.0%)であり、好転と回答した企業が半数あり、減少と回答した企業を上回り、前年より採算の状況の改善が見られる。採算状況判断(DI)は、25.0となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
4	2	2
50.0%	25.0%	25.0%

来期予想採算状況判断(DI)は、12.5(今回調査より12.5ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年7月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(12.5%)、「不変」と回答した企業は7社(87.5%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)であり、9割近い企業が前年と変わらないとしている。好転した企業が悪化した企業より多く、資金繰り判断(DI)は、12.5となった。

◆今期の状況(前年同月比)

好転	不変	悪化
1	7	0
12.5%	87.5%	0.0%

来期予想資金繰り判断(DI)は、0.0(今回調査より12.5ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年7月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(71.4%)、「上昇」と回答した企業は2社(28.6%)であり、約7割の企業が変わらないとしているが、上昇したとする企業が下落した企業を上回り、仕入環境は悪化している状況がうかがわれる。仕入単価判断(DI)は、▲28.6となった。

◆今期の状況(前年同月比)

下落	不変	上昇
0	5	2
0.0%	71.4%	28.6%

来期予想仕入単価判断(DI)は、▲28.6(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

○従業員について

2017年7月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は1社(12.5%)、「不変」と回答した企業は7社(87.5%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)であり、9割近い企業が変わらないとしている。不足とする企業が、過剰であるとした企業を上回っており、不足感もうかがわれる。従業員判断(DI)は、12.5となった。

◆今期の状況(前年同月比)

不足	不変	過剰
1	7	0
12.5%	87.5%	0.0%

来期予想従業員判断(DI)は、12.5(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

企業のコメント

- ・一番の課題は集客であり、現在地道に認知活動を行っている。
- ・資金繰りが課題である。